

政策評価シート(平成30年度実績評価)

◎ 政策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-4	政策名	観光の振興	政策の 目指す姿	国内外から多くの観光客を誘 引し、賑わいを創出しています	政策 主管課	観光課	政策主管 課長名	高橋 徹
	政策の方針	人口減少の中で、まちの賑わいを創出するためには、国内外からより多くの観光客を誘引する必要があります。そのため、豊富な観光資源を活用し観光地としての魅力を向上させるとともに、国内外に効果的な情報発信を行います。また、観光客が目的地にスムーズに移動できるように環境整備を進めるとともに、まちぐるみで観光客を歓迎できるようにおもてなしの向上を図ります。								

2 成果指標の達成状況

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握する のか)	単位	区分	H27 (基準年度)	H29	H30	R1	R5
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
観光客入込数	観光資源に魅力を感じ、訪れた観光客数を示す指標です。増加を目指します。 (国基準に基づき暦年集計)	出典:岩手県(観光客入込数調)	万人		目標値	219	220	221	222
					実績値	218	214	201	-
観光客宿泊者数	観光資源に魅力を感じ、訪れた観光客数のうち、宿泊者数を示す指標です。増加を目指します。 (国基準に基づき暦年集計)	出典:岩手県(観光客入込数調)	万人		目標値	87.1	87.4	87.7	88.0
					実績値	86.4	83.1	79.7	-
達成度	[達成状況に関する背景・要因]								
B	観光客入込者数のうちその約半数を占める花巻温泉郷宿泊施設への入込者数は、外国人観光客の占める割合が徐々に増加しているものの、減少していく国内観光客をカバーできるまでには至っていない。 また、観光施設への入込者数は安定しているが、イベントによる入込者数は気象状況に左右され、全体の観光客入込者数が大きく増減する要因となっている。								

3 政策に対する各施策の達成度

No.	施策名	成果指標名	H27 (基準年度)	H29			H30			R1		前年実績 との比較	達成度
			現状値	目標値	実績値	達成度	目標値	実績値	達成度	目標値	見込み		
1	観光の魅力向上	観光施設、イベントの入場者数(暦年集計、万人)	108.1	109.0	111.0	a	109.3	103.6	b	109.7		↘	B
		広域(花巻・遠野・平泉)観光客入込者数(暦年集計、万人)	580.9	584.4	584.9	a	586.1	575.5	b	587.7		↘	
2	観光情報の発信	花巻観光協会ホームページのアクセス件数(万件)	49.5	49.9	35.2		50.0	43.9		50.2		↗	C
		訪日外国人観光客入込数(暦年集計、万人)	2.0	3.7	4.6	a	4.4	5.0	a	5.2		↗	
3	移動しやすい観光地	案内板表示に満足した観光客の割合	-	90.0	87.0	b	90.0	87.0	b	90.0		→	B
		観光環状バス等の利用者数(万人)	5.8	5.8	5.5	b	5.9	5.5	b	5.9		→	
4	おもてなしの向上	観光施設等での対応やおもてなしに満足した観光客の割合	86.3	90.0	95.6	a	90.0	95.1	a	90.0		↘	A

4 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
B-③	観光施設やイベントによる集客も必要であるが、集客することで経済的効果を上げるためには、花巻温泉郷をはじめとする宿泊施設の入込者数を伸ばすなど、滞在時間の延長を図ることが重要である
概ね順調	そのためにも、国内外観光客の多様なニーズに対応できる滞在型メニューの充実、ストレスの少ない受入環境の整備、移動をスムーズに行える二次交通の確保、広域連携による周遊観光モデルの提案等により、観光協会をはじめとする関係機関と連携協力したプロモーションを充実させる必要がある。

成果 指標 達成度	A				
	B	☆			
	C				
	D				
		④	③	②	①
		政策に対する施策の達成度			

5 政策を構成する施策一覧

施策名	観光の魅力向上	施策の成果指標の達成状況	H29	A	H30	B
1	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつりやイベントを支える後継者・参加者の確保や将来的なあり方について、以前から情報交換・検討を継続しているものの解決には至っていない。 ・広域的な周遊観光を進めるうえで、他自治体等との連携したPRを行っているものの、具体的な周遊プランの提案や観光客の多様なニーズに対応できる滞在型メニュー整備の拡充が必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まつりやイベントの将来的なあり方・集客力を高められる内容の検討について、継続して関係者との情報交換・検討を進めるとともに支援する。 ・新たな広域連携先の検討を進めるとともに、連携による具体的な周遊プランの提案、観光客の多様なニーズに対応できる滞在型メニュー整備の拡充を図るとともに、滞在型メニューを集約したPR・予約・決済等の一元化したシステムの構築を検討する。 					
2	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊富な観光資源を有しているが、効果的な情報発信となっていない。また、地元経済への影響が大きい宿泊客数について、季節ごとに増減の差を解消する必要がある。 ・増加が期待できる外国人個人観光客に満足してもらうため、滞在プログラムの多様化・多言語対応・キャッシュレス決済など、更なる受入態勢整備を進める必要がある。 ・重要な市場である台湾、香港では、長年のセールス活動の成果により現地旅行会社では「花巻」の認知度は高いが、増加が期待できる個人客に対して効果的な情報発信を図る必要がある。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSやデジタルサイネージ等を活用した魅力的な情報発信に努めるとともに、宿泊閑散期に合わせた宿泊客の増加につながる事業に取り組む。 ・外国人観光客については着実に増加しており今後のにおいても地元経済への貢献が期待されることから、外国人個人観光客の更なる入込みを図るため、引き続き受入態勢整備に努めるとともに、SNSの多言語対応を図る。 					
3	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりやたまねこ号において、体験施設等の観光施設以外の立ち寄りなどコース等の魅力向上を図る必要があるが、一方で移動距離・時間、乗車料金等のバランスを図る必要がある。また、旅行会社の取扱いを回復させる必要がある。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客にとって二次交通は観光の重要な要素であることから、魅力的なコース設定、適正な利用料金を検討する。 ・二次交通全般について、増加が期待できる外国人個人観光客の対応を含め、国内外へのわかりやすい情報発信に努めるとともに、国内外旅行会社へのセールス強化を図る。 					
4	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致活動を行っている外国人観光客についても、動態・傾向・満足度などを正確に把握する必要がある。 ・当市の観光ボランティアガイドの内容は、無料で観光客の希望箇所を自由に案内しているが、全国的には有料で既に設定されたコース案内が標準的であることから、ガイドの後継者確保・ガイド内容の質の向上の意味からも見直しの検討が必要である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客の動態等の正確な把握について、花巻観光協会・宿泊施設等の協力を貰いながら対応する。 ・観光ボランティアガイドについては、他観光地での例を参考にしながら、ガイドコースの設定や有料化など、さらに検討を行う。 					